

九州医療科学大学動物実験計画書

学長 殿

 新規 継続 変更(※項目欄記入) 提出年月日 令和 年 月 日 受付番号

研究課題							
研究目的							
動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ	部局名(学部学科講座名)			職	印鑑	動物実験の経験等
	氏名						教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	e-mail	連絡先TEL:			<small>大学院生、研究生は 指導教員の印鑑</small>		
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ 選択項目を■)	()						教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	e-mail	連絡先TEL:					
	()						教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	e-mail	連絡先TEL:					
	()						教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	e-mail	連絡先TEL:					
	()						教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
e-mail	連絡先TEL:						
実験実施期間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで						
使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質 (購入時)	入手先(導入機関名)	備考(週齢等)
					SE, グリーン, CV		
					SE, グリーン, CV		
					SE, グリーン, CV		
					SE, グリーン, CV		
					SE, グリーン, CV		
研究計画と方法	研究概要 (研究計画と方法について、その概要を記入する。)						
	実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。安楽死の方法や実験期間の記入も忘れずに記入する。具体的な人道的エンドポイントを記入する。)						
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 試験・研究 <input type="checkbox"/> 教育・訓練: 学生実習での倫理的配慮方法() <input type="checkbox"/> その他()						
動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 代替手段がない <input type="checkbox"/> 代替手段の感度・精度が不十分である <input type="checkbox"/> その他()						
関係委員会 (該当項目を■)	<input type="checkbox"/> 倫理委員会 <input type="checkbox"/> 遺伝子・核酸組換え実験安全委員会 ※承認年月日・学内許可番号()						

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 感染実験(安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3) <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え動物使用実験(区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A) <input type="checkbox"/> 放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 化学発癌・重金属実験	
動物の飼養保管場所	部屋番号 (例:M-119)	飼養保管施設名称
動物実験の実施場所	部屋番号 (例:I-201)	実験室名称

		動物種	
想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>		B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>		C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>		D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。
	<input type="checkbox"/>		E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐える限界に近い、またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。
動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>		1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。
	<input type="checkbox"/>		2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。
	<input type="checkbox"/>		3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (<u>具体的薬剤名及びその投与量経路</u> 記入:)
	<input type="checkbox"/>		4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。
手術を行う場合 手術後の動物の管理 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 頻回の観察 <input type="checkbox"/> 保温 <input type="checkbox"/> 補液 <input type="checkbox"/> 特別食の給餌 <input type="checkbox"/> 栄養剤の投与 <input type="checkbox"/> 鎮痛剤の投与 <input type="checkbox"/> 抗生物質の投与 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記入:)
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>		1. 麻酔薬等の使用 (<u>具体的薬剤名及びその使用法</u> を記入:)
	<input type="checkbox"/>		2. 炭酸ガス
	<input type="checkbox"/>		3. 中枢破壊 (具体的に記入:)法
	<input type="checkbox"/>		4. 安楽死させない (理由を記入:)
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>		1. 外部業者に依託
	<input type="checkbox"/>		2. その他 (具体的に記入:)
変更項目 (軽微なものに限る)			動物実験実施者追加・削除() 使用動物種と使用数の変更() その他() 変更の理由()
その他			

委員会記入欄	審査終了: 令和 年 月 日
	修正意見等
	審査結果 <input type="checkbox"/> 本実験計画は、九州医療科学大学における動物実験規程等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、九州医療科学大学における動物実験規程等に適合しない。

学長承認欄	承認: 令和 年 月 日
	本実験計画を承認します。
	承認番号: 第 号

九州医療科学大学長

令和 年 月 日

学 長 殿

動物実験責任者
所属
氏名
連絡先

動物実験終了報告書

九州医療科学大学動物実験等規則第13条第2項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1. 承認番号	
2. 研究課題名	
3. 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 一部変更して実施 (変更事項と変更理由： <input type="checkbox"/> 中止 (中止理由：
4. 使用動物の種と使用数	
5. 結果の概要	
6. 成果（予定を含む） (得られた業績、例：著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	
7. 特記事項	

飼養保管施設設置承認申請書

学 長 殿

管 理 者 学部名
氏 名

九州医療科学大学動物実験等に関する規則第13条第1項の規定に基づき、下記の飼養保管施設設置の承認について申請します。

受付番号

申請年月日 令和 年 月 日

受付年月日 令和 年 月 日

1. 飼養保管施設の 名称と場所	
2. 飼養保管施設の 管理体制	<実験動物管理者> 所属 職名 氏名 連絡先： 関連資格： 経験年数：
	<飼養者>（人数が多い場合、別資料として添付） 所属 職名 氏名 連絡先： 関連資格： 経験年数：
3. 飼養保管施設の 概要	1) 建物の構造（例：鉄筋コンクリート造） 2) 飼育室の床、内壁及び天井の構造 3) 飼育室の温度、湿度、換気回数及び明暗時間の設定条件 4) 飼育保管する実験動物種 5) 飼育ケージの規格と最大収容数 6) 逸走防止柵（ネズミ返し、ケージの施錠、前室の有無、窓や排水溝の封鎖など） 7) 動物飼育器材の洗浄設備の名称と規格 8) 動物飼育器材の滅菌設備の名称と規格 9) 臭気、騒音防止策 10) 廃棄物の処理方法

<p>4. 特記事項 (例: 科学的危険物質や病原体等を扱う場合等の設備構造の有無等)</p>	
<p>5. 委員会記入欄</p>	<p>調査年月日: 令和 年 月 日 調査委員氏名: 調査結果: <input type="checkbox"/>申請された飼養保管施設は規則に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 甲斐前後、使用開始すること。) <input type="checkbox"/>申請された飼養保管施設は規則に適合しない。 意見等:</p>
<p>6. 学長承認欄</p>	<p>承認: 令和 年 月 日 本申請書承認します。 承認番号: 第 号 九州医療科学大学長</p>

添付資料

- 1) 飼養保管施設の位置を示す地図
- 2) 飼養保管施設の平面図

